

## 長野県廃棄物処理計画（第4期）の概要について

資源循環推進課

## 計画の趣旨

## ◆計画の位置付け

- ・廃棄物処理法に基づく法定計画
- ・循環型社会形成推進基本法を踏まえた計画

## ◆計画期間

平成28年度から平成32年度までの5年間

## 現状と課題

## ◆長野県の現状

1人1日当たりの一般廃棄物排出量全国順位（H26）

| 順位 | 都道府県 | 排出量  |
|----|------|------|
| 1位 | 長野県  | 838g |
| 2位 | 沖縄県  | 844g |
| 参考 | 全国平均 | 947g |



| 区 分   | 20年度実績値                       | 26年度実績値（※）    |
|-------|-------------------------------|---------------|
| 一般廃棄物 | 総排出量 722千t<br>1人1日当たり排出量 907g | 657千t<br>838g |
| 産業廃棄物 | 総排出量 3,709千t                  | 4,341千t       |

※産業廃棄物は、25年度実績値

## ◆課題等

- ・一般廃棄物の総排出量は、20年度実績からは減少しているが近年は横ばい傾向
- ・産業廃棄物の総排出量は、増加傾向

## 基本目標等

「もったいない」を大切にして  
ごみ減量日本一！

～美しい信州を次世代へ～

長野県の美しく豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくため、「もったいない」の気持ちを大切にして、廃棄物の排出抑制、再利用等の取組を進め、ごみの減量日本一を常に目指します。

そのために

【2Rを意識した取組により、廃棄物の減量化を進めます。】

優先順位①

リデュース：排出抑制

優先順位②

リユース：再利用

優先順位③

リサイクル：再生利用

## ◆数値目標

| 区 分   | 平成32年度目標値                     |
|-------|-------------------------------|
| 一般廃棄物 | 総排出量 588千t<br>1人1日当たり排出量 795g |
| 産業廃棄物 | 総排出量 4,358千t                  |



## 取 組

## &lt; 県民総参加によるごみの減量化 &gt;

～県民及び事業者が広く関わりながら行う県民運動～

## 【チャレンジ800ごみ減量推進事業】

全ての県民が参加するごみ減量の取組を広げ、しあわせ信州創造プランで掲げる「県民1人1日当たりの一般廃棄物の排出量800g以下」の達成を目指します。

## ◆チャレンジ800実行チームによる取組

## ◆レジ袋削減県民スクラム運動

- ・レジ袋削減協働アピール
- ・統一行動日のキャンペーンの実施

## ◆食べ残しを減らそう県民運動～e-プロジェクト～

- ・協力店の登録促進
- ・宴会たべきりキャンペーンの実施

## ◆次世代への教育

- ・食品ロス削減の教材を作成し、環境教育を推進



## 《 排出抑制・再利用等の推進 》

## ◆リデュース（排出抑制）～大切に使い、ごみを減らす～

- ・一般廃棄物処理の有料化の促進
- ・地域的特色に応じた市町村の取組の支援
- ・事業系一般廃棄物の減量化
- ・レジ袋の削減
- ・食品ロスの削減
- ・事業者の自主的な資源生産性向上等による排出抑制の推進
- ・環境マネジメントシステムの導入の推進
- ・長野県産業廃棄物3R実践協定の推進

## ◆リユース（再利用）～使えるものは繰り返し使う～

- ・リターナブル容器等のリユース
- ・各主体（家庭、市町村、地域、職場）によるリユース

## ◆リサイクル（再生利用）～資源として再び利用する～

- ・法規制によるリサイクル
- ・インクカートリッジのリサイクル
- ・信州リサイクル製品の普及
- ・ごみの分別収集
- ・廃棄物のエネルギー利用の推進

## ◆環境教育等の推進

## ◆取組指標

- ・一般廃棄物 最終処分量 58千t（H25年度）→ 51千t（H32年度）
- ・産業廃棄物 最終処分量 81千t（H25年度）→ 78千t（H32年度）等

## 《適正処理の推進》

## ◆廃棄物の適正処理の確保

## ◆廃棄物の適正処理基盤の整備 等

## 《長期的取組》

## ◆ごみ処理の広域化

## ◆地域循環圏の形成 等